

## ✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2014年12月3日 連邦交通省

### ■ 街灯と一体化した充電ポイントが使用開始

Lichtmastintegrierter Ladepunkt eingeweiht

ユビトリシティ社は技術試験の枠内で、ベルリン内の最大100基の街灯に「ユビトリシティ・システム」のコンセントを取り付け、電動車両用の充電ポイントとして使えるようにする。ユビトリシティ社、ドイツ物理工学研究所、ボルタリス有限会社、ITF-EDV フレッシュル有限会社が参加している合弁プロジェクトの研究開発業務は、2010～2015年の期間、連邦経済省から約350万ユーロの助成を受けて行われる。

フランス 2014年12月5日 Le Parisien

### ■ 高速道路は富の源泉：32億ユーロの工事で147億ユーロの収益

Le pactole des autoroutes: 3,2 milliards de travaux; 14,7 milliards de recettes

高速道路振興計画によるコンセッション期間の延長で、高速道路会社は総額147億ユーロを手に入れることになるらしい。これは営業経費を差し引いた純利益で、工事費の4.5倍に相当する。

フランス 2014年12月5日 ASFA

### ■ 2014年12月5日付『ル・パリジャン』紙の記事に対する反論

Réaction à l'article du Parisien du 5 décembre 2014

高速道路会社としては、コンセッション期間を2年から4年延長することから生じる収入で賄われるこの投資計画は、即座に32億ユーロを投資し、延長した年月のあいだに徴収する料金収入を通じて20年後に投資額を回収するものであることを強調したい。回収するまでの期間、高速道路会社は特に工事と交通状況の変化にかかわるリスクを全面的に負うことになる。

スペイン 2014年12月10日 AEC

### ■ 議会の有力会派の要請により AEC, 議会の交通安全委員会に応召

A petición del Grupo Parlamentario Popular La AEC, invitada a comparecer ante la Comisión de Seguridad Vial del Congreso

AECのデラ・ペニャ技術部門副事務長は、採用された主要な6点に体系化された事業計画を発表する。すなわち、在来の道路の安全性向上、速度制限の合理化、道路出口での事故とその影響の低減、都市部でのすべての交通路利用者にモビリティを保証した上での自転車利用の奨励、高齢化社会へのインフラの適合理化、およびさまざまな道路交通網の維持と保全に対する投資の増加の緊急の必要性である。

ドイツ 2014年12月15日 Frankfurter Allgemeine オンライン版

### ■ 『間接的な差別待遇』 欧州委員「乗用車課金はEU法に合致していない」

“Indirekte Diskriminierung” EU-Kommissarin: Pkw-Maut nicht vereinbar mit EU-Recht

欧州委員会のヴィオレタ・ブルク輸送担当委員は、批判すべき点として以下の2つを挙げている。すなわち、乗用車課金の計算法は、自動車税によってドイツのドライバーを優遇しており、これは他のEU加盟国のドライバーへの『間接的な差別待遇』につながるという点である。それに加えて、外国人向けの有効期間が短いヴィニエットが高すぎる（2カ月有効のものが20ユーロ、10日有効のものは10ユーロ）という問題点がある。

フランス 2014年12月17日 Libération

### ■ 高速道路の契約を破棄するよう国に提言する報告書

Un rapport recommande à l'Etat de dénoncer les contrats sur les autoroutes

高速道路情報収集委員会の報告者を務める社会党のジャン＝ポール・シャントゲ議員は水曜日、国と高速道路コンセッション会社を拘束している「現行の契約の破棄」を提言。さらに政府に対して「早急に行動を起こす」よう勧告し、作成を委託されていた報告書を国民議会（下院）に提出した。

ドイツ 2014年12月17日 連邦交通省

■ インフラ使用税は公平で意義深く、かつ公正

ドブリント交通相「この法案によってわれわれは連立政権の公約を果たしました」

Infrastrukturabgabe ist fair, sinnvoll, gerecht

Dobrindt: Mit dem Gesetzentwurf haben wir die Vorgaben des Koalitionsvertrages erfüllt

連邦内閣は今日、アレクサンダー・ドブリント連邦交通相が提出した「連邦幹線道路の使用に対するインフラ使用税導入」のための法案を可決した。この法律は、ドイツ国内および国外で認可された車両の所有者を対象とした、電子式ヴィニエットの形式によるインフラ使用税の導入を目的としている。対象となる道路はアウトバーンと連邦道路である。国外で認可された車両の所有者は、連邦アウトバーンを利用する場合のみ課税対象となる。

ドイツ（オランダ） 2014年12月18日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ ドイツの乗用車課金計画に反対し続けるオランダ

Niederlande bleiben bei Ablehnung der deutschen PKW-Maut

「私は引き続きドイツの計画には反対です。その訳は、実際には越境交通の新しい障害物ができることになるからです」と、オランダのインフラ相、メラニー・シュルツ・ファンハーゲン氏は、木曜日発行の「パッサウ新報」で自身の見解を明らかにした。同相は、さしあたりは欧州委員会によるこの計画の公式な評定を待ちたいと考えている。

フランス 2014年12月18日 Goodplanet

■ ラ・ロシェルで4月まで無人運転ミニバスを試験運行

La Rochelle expérimente des minibus sans chauffeur jusqu'en avril

この先駆的試みは、完全自動・自律型交通システムの発展を目指す欧州の研究・実証プロジェクトである「シテイモービル」の一環として実施される。

ドイツ 2014年12月21日 Spiegel オンライン版

■ ドイツの課金案：ユンカー委員長、条約違反を理由とした手続きをとると威嚇

Deutsche Maut-Pläne: Juncker droht mit Verfahren wegen Vertragsverletzung

乗用車課金の導入が決定したが、論争はまだ続いている。ジャン＝クロード・ユンカー欧州委員会委員長は、このドイツの道路使用料制度はEUの諸条約に違反しているから見なしている。この事件は欧州司法裁判所に持ち込まれる可能性もある。

フランス 2014年12月22日 Le Figaro

■ 高速道路について市民協議を開始

Autoroutes: une consultation publique lancée

高速道路コンセプション契約の解除を求める複数の高速道路利用者団体が本日、国会で種々の報告書が提出されたことを受け、かつ政府と高速各社との協議が続いているこの時機を捉え市民協議を開始したと発表した。

スペイン 2014年12月23日 AEC

■ ヨーロッパの市民の59%が、道路について最も難しいのは維持であると感じている。

自動車は引き続きEUで最も利用されている交通手段である。

El 59% de los europeos considera que el gran reto de las carreteras es el mantenimiento

El coche sigue siendo el modo de transporte más utilizado en todos los estados de la Unión

今月12月に発行したEU内の交通の質に関するユーロバロメーターの最新のデータは、既知の事実を再び思い起こさせた。それは自動車、すなわち道路という交通手段が、日常の短い移動であっても、長期旅行であっても、ヨーロッパ市民の移動手段のニーズに合ったもっとも好まれる手段であるということである。

フランス 2014年12月31日 Le Figaro

■ 2017年までは高速道路コンセッション契約を継続

Autoroutes: pas de résiliation avant 2017

マニュエル・ヴァルス首相は水曜日、高速道路について審議する作業部会を1月初めに創設することを発表した。当部会にて、コンセッション契約を再交渉するシナリオと、2017年1月1日の解消を目指すシナリオの二つの改革案が検討される。これにより2016年内に契約を解消する可能性はなくなった。

ドイツ 2015年1月7日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ ドブリント交通相、民間の資金調達によるアウトバーン建設計画を促進

Dobrindt treibt Pläne für privat finanzierten Autobahnbau voran

アレクサンダー・ドブリント連邦交通相は、民間の出資者からの資金によってドイツのアウトバーン網の改修・拡充を促進する意向だ。連邦交通省のある文書から読み取れるように、今後は、保険や年金基金などがアウトバーンの新しい出資元として大部分を占め、改修・維持もこれらの資金によってされるという意図がある。具体的には、特にアウトバーン6号線ヴァインスベルク～クライルスハイム間の6車線への拡充工事費用7億5000万ユーロの調達が、この方針に沿ってなされるかどうかの問題となっている。